

第6節 プラットフォームの動向

1 市場動向

2024年の世界のICT関連市場の主要プレーヤーの時価総額をみると、2023年に2位だったMicrosoftが、米Open AI社と提携してAI戦略を加速し、生成AI需要への期待を背景に、Appleを抜き首位となった。また好調な業績に加えて生成AI需要を見越した半導体関連の需要拡大が好感され、NVIDIAも3位に躍進している。その他、Taiwan Semiconductor Manufacturingなど、半導体関連を手掛ける企業が株式市場で評価されている（図表Ⅱ-1-6-1）。

図表Ⅱ-1-6-1 世界のICT市場における時価総額上位15社の変遷

2023年				2024年				
社名	主な業態	所在国	時価総額（億ドル）		社名	主な業態	所在国	時価総額（億ドル）
Apple	ハード、ソフト、サービス	米国	25,470	↑	Microsoft	クラウドサービス	米国	31,420
Microsoft	クラウドサービス	米国	20,890	↓	Apple	ハード、ソフト、サービス	米国	26,380
Alphabet/Google	検索エンジン	米国	13,030	↑	NVIDIA	半導体	米国	23,750
Amazon.com	クラウドサービス、eコマース	米国	10,270		Amazon.com	クラウドサービス、eコマース	米国	18,670
NVIDIA	半導体	米国	6,650	↓	Alphabet/Google	検索エンジン	米国	18,660
Meta Platforms/Facebook	SNS	米国	5,370		Meta Platforms/Facebook	SNS	米国	12,820
Tencent	SNS	中国	4,690	↑	Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体	台湾	6,350
Visa	決済	米国	4,600	↑	Broadcom	ハード、半導体	米国	6,260
Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体	台湾	4,530	↓	Visa	決済	米国	5,650
Mastercard	決済	米国	3,440		Mastercard	決済	米国	4,440
Samsung Electronics	ハード	韓国	3,280		Samsung Electronics	ハード	韓国	3,960
Broadcom	ハード、半導体	米国	2,610	↑	Oracle	クラウドサービス	米国	3,470
Alibaba	eコマース	中国	2,570	↓	Tencent	SNS	中国	3,440
Oracle	クラウドサービス	米国	2,450	new	Salesforce	クラウドサービス	米国	2,970
Cisco Systems	ハード、セキュリティ	米国	2,100	new	Advanced Micro Devices (AMD)	半導体	米国	2,890

※ 2023年は2023年3月31日時点、2024年は2024年3月27日時点

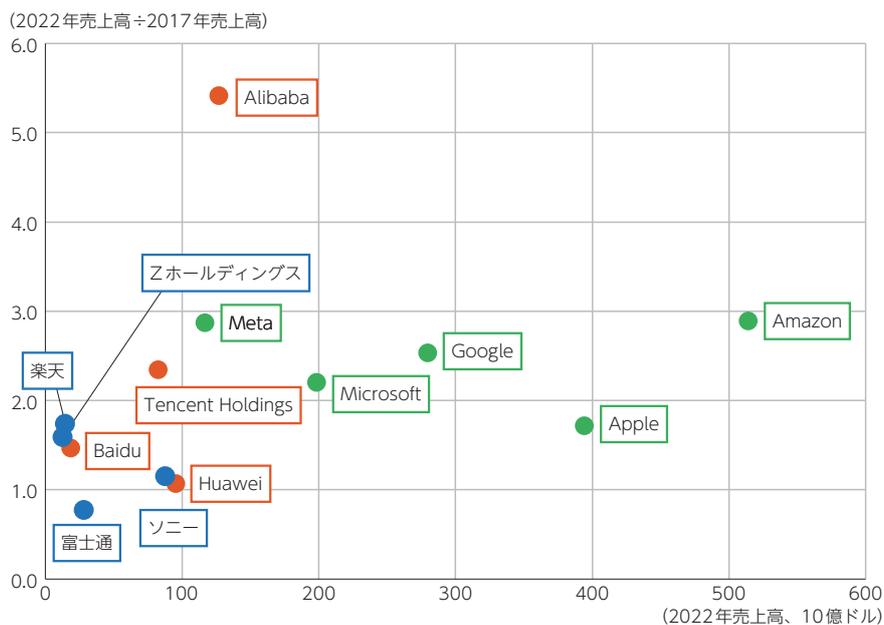
（出典）Wright Investors' Service, Incより取得^{*1}

日本、米国及び中国の主なプラットフォーマーなどの2022年の売上高^{*2}を比較すると、最も大きいのはAmazon（5,140億ドル）で2017年比2.9倍となっている（図表Ⅱ-1-6-2）。中国のAlibaba（1,269億ドル）は2017年比で5.4倍と高い成長となっている。一方、日本企業は規模も小さく、楽天1.7倍、Zホールディングス1.6倍、ソニー1.2倍、富士通0.8倍と成長の面でも見劣りする。

*1 <https://www.corporateinformation.com/#/tophundred>

*2 日本、中国企業については、各年の平均レートを用いてドルに変換している。

図表Ⅱ-1-6-2 日米中のプラットフォームの売上高



(出典) Statista データを基に作成

2 主要なプラットフォームの動向

米中の主要なプラットフォーム各社は、それぞれの強みを活かし、生成AIやメタバースを含む新たな分野・ビジネスへの取組に力を入れている。特に生成AIに関する開発については、複数のプラットフォームが力を入れており、今後様々な場面で生成AIが活用されることが見込まれる(図表Ⅱ-1-6-3)。

図表Ⅱ-1-6-3 米中の主要なプラットフォーマーの動向

<米国>

主要分野	企業	事業概括・領域	新たに注力している分野・ビジネス
広告・検索	Alphabet (Google) 	世界最大の検索エンジンサービスを提供しており、検索広告を中心にクラウド、端末など巨大な経済圏を展開	対話型AI「Gemini（旧称Bard）」をGoogle検索やGmailやYouTubeなどと連携するなどAI技術を活用したサービス強化を進めている。
電子商取引	Amazon 	世界最大級のeコマース事業者で、クラウドサービス（AWS）を中心に巨大な経済圏を展開	AWSでの生成AI関連サービス、買い物アシスタントAIなど強みのある領域での生成AI活用を進めている。
SNS・アプリ	Meta (Facebook) 	世界最大級のSNSサービスを提供しており、2021年に社名をメタ・プラットフォームズに変更し、メタバース事業への取組を推進	AIチャットボット「Meta AI」などSNSをはじめとした事業全体に生成AIの展開を進めている。
通信機器・端末	Apple 	世界最大のネット・デジタル家電の製造小売であり、iPhoneなどの端末を核とした巨大な経済圏を展開	iPhoneを中核に据えたビジネスを拡大しており、MRヘッドセット「Apple Vision Pro」がXR市場を活性化させるかどうか今後の動向が注目される。
端末・クラウド	Microsoft 	世界最大級のソフトウェアベンダーであり、WindowsやOfficeなどのソフトウェアやクラウドサービスを中心に巨大な経済圏を展開	OpenAI社とパートナーシップを拡大するなど生成AIの活用に関心をもち、様々な場面における生成AIサービスの導入を狙っている。

<中国>

主要分野	企業	事業概括・領域	新たに注力している分野・ビジネス
広告・検索	Baidu 	中国最大の検索エンジン事業者で、検索サービスで得られた豊富なデータでAIの技術開発を進め、様々な業界との連携に注力	2023年8月に生成AIサービス「文心一言（ERNIE Bot）」を一般公開し、自社プロダクトの強化だけでなく、様々な企業にAI技術を提供することでエコシステム構築を狙っている。
電子商取引	Alibaba 	世界最大の流通総額を持つeコマース事業者で、データテクノロジーを駆使し、マーケティングから物流、決済に至るまでのサービスを提供	2023年3月に事業を6分割する方針を発表。国内ECの成長が鈍化する中、越境ECやパブリッククラウド、AI事業への集中を進めている。
SNS・アプリ	Tencent 騰訊 	中国最大のSNSアプリプラットフォームで、「WeChat」を基盤に決済、ゲーム等を提供し、巨大なデジタルエコシステムを構築	2023年9月にリリースした自社開発の大規模言語モデル「混元」を中心に自社サービスへのAI実装を進め、画像・動画生成AIの開発にも注力している。
通信機器・端末	Huawei 	世界的な通信機器ベンダーで、ICTインフラ、デバイス、クラウドサービス、デジタルエネルギーなどの事業を展開	2023年8月に販売した5Gスマートフォンが好調であり、デバイス事業の拡大に注力するとともに、EV事業などへも進出し、事業の多角化を図っている。

(出典) 各社公表資料を基に作成

関連データ 米中の主要プラットフォーマーの事業別売上高

出典：各社決算発表資料を基に作成

URL：https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/html/datashu.html#f00251

(データ集)

